

研究番号 876号 承認日 2018年6月1日
 研究実施予定期間 2017年12月～2018年12月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	人工呼吸器管理中の重症患者へのパスを用いた早期リハビリテーション実施の取り組み	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	人工呼吸器装着患者に対する早期離床・早期運動療法が推奨されている。当院でも早期リハビリテーション(以下、早期リハ)を促進する目的で2017年2月から人工呼吸器管理パスにリハビリ処方が組み込まれた。このパスは疾患を問わず、経口挿管施行前後における全身状態管理が必要となった患者が対象とされている。疾患別パスへリハビリ処方を追加し早期リハを促進させる取り組みは散見するが、処置・管理に関するパス内にリハビリ処方を追加する取り組みの報告はない。そこで当院の人工呼吸器管理パスは早期リハ実施に影響したか、またパス使用の有無が退院時の身体機能および転機に影響に及ぼすか検討することとした。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	柏木宏彦・リハビリテーション科・副部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	渡邊健登・リハビリテーション科・技師主事・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント)について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年(提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問い合わせ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科: <u>リハビリテーション科</u> 担当者: (氏名) <u>渡邊 健登</u> (職名) <u>技師主事</u> 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 820号 承認日 2018年2月14日
 研究実施予定期間 2017年12月～2020年12月

情報公開文書

1. 研究課題名	サルコペニア・低栄養患者に対するリハビリテーション栄養の効果	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場 合には品名と一般名も記載)	サルコペニアや低栄養は入院患者の身体機能障害や死亡のリスク因子となることが多くの先行研究で報告されている。また、運動療法と栄養療法はそれぞれ単独で行うよりも併用することでより効果が得られることが知られており、近年「リハビリテーション栄養」という考え方が注目されている。一方で、サルコペニアや低栄養を呈する患者に対するリハビリテーション栄養の治療効果の報告は少ない。そこで本研究では、サルコペニア・低栄養を呈する患者に対するリハビリテーション栄養の効果を検討することを目的とした。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	岸健 太郎・消化器外科・副部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	柏木 宏彦・リハビリテーション科・副部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について：) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科： <u>リハビリテーション科</u> 担当者： (氏名) <u>田中 孝平</u> (職名) <u>技師主事</u> 連絡先： 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 807号 承認日 2018年1月16日

研究実施予定期間 承認後～

情報公開文書

1. 研究課題名	開心術においてFrailtyが術後経過に及ぼす影響についての検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場 合には品名と一般名も記載)	近年の心臓大血管手術を受ける患者の高齢化や重症化が進むに伴い、患者の frailty が手術に与える危険性についての報告が議論されるようになったが、開心術における術後経過や予後に寄与する frailty を評価する方法は確立されておらず、予後との関連も明らかになってはいない。今回我々は術前 frailty を様々な角度から検証し、開心術後経過やリスクに与える影響について検討することを目的とした。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	西 宏之・心臓血管外科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	柏木 宏彦・リハビリテーション科・副部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>リハビリテーション</u> 科 担当者: (氏名) <u>西谷 慎之介</u> (職名) <u>技師主任</u> 連絡先: 06-6771-6051 (下記の例文を用いてください) ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 776号 承認日 2017年5月1日

研究実施予定期間 承認後～2020年3月

情報公開文書

1. 研究課題名	消化器癌患者の入院時骨格筋量と身体機能及び栄養状態と術後身体機能の関連性及び術後理学療法の安全性の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	近年、サルコペニアの存在ががん患者に及ぼす影響についての研究が著増しているが、臨床的意義については未だ不明な点が多い。サルコペニア研究の多くは骨格筋量に注目しているが、骨格筋量と筋力、身体機能は直線的な関係を持たないため、筋力や身体機能も重要なアウトカムとなる。また、サルコペニアや低栄養は術後理学療法のリスク因子となり得る。本研究では、手術目的で入院となった消化器癌患者の術前の骨格筋量と身体機能及び栄養状態が術後身体機能に及ぼす影響について検討するとともに、術後理学療法の安全性について検討することを目的とした。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	林田賢治・整形外科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	田中孝平・リハビリテーション科・技師主事・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 研究の対象者	2016年4月～2020年3月に当院で消化器癌に対する手術を受けた方	
7. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科: <u>リハビリテーション科</u> 担当者: <u>(氏名) 田中 孝平</u> (職名) <u>技師主事</u> 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生	

	じることはありません。
--	-------------

研究番号 721号 承認日 2017年5月1日
 研究実施予定期間 承認後 ～ 2020年3月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	超音波画像診断によるICU入室中患者の下肢骨格筋量の継時的変化と退院時運動機能の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	ICU-acquired weakness (ICU-AW) は、ICU 入室重症患者における急性の瀰漫性筋力低下で、入院期間の延長や長期予後の悪化に影響することが報告されており、ICU-AW の予防は急性期リハビリテーションの重要な目的となる。しかしながら、鎮静やせん妄等の影響により ICU 入室患者の筋力評価は困難な場合が多く、筋力低下の程度についての報告は少ない。本研究では、超音波画像診断を用いて、ICU 入室中患者の下肢骨格筋量の継時的変化と退院時運動機能の関係について明らかにすることを目的とした。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	林田 賢治・整形外科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	柏木 宏彦・リハビリテーション技術科・副部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: リハビリテーション技術科 担当者: (氏名) 田中 孝平 (職名) 技師主事 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

